

ヤマトニュース



「梅林にて(宝塚市)」 PHOTO by S.YAMAOKA

新年を迎えて 代表取締役社長 川西 勝三

2008年度 Yamato 研修会を開催

商品情報 | 活用事例 TDW-2100WPシリーズ
オートチェッカ「Eシリーズ」
基礎レストラックスケール

トピックス | インドに子会社を開設
Pack Expo 2008
川西社長 大分国体でメダル獲得!

編集後記

2009.1

No. 399



代表取締役社長
川西 勝三

「新年を迎えて」

あけましておめでとうございます。

さて、当社を取り巻く環境はここ数ヶ月で激変しております。金融不安、円高、世界的な景気後退、資源の乱高下など、どれ一つとっても大きな問題であり、しかもそれが同時に起こっています。

いわば、100年に一度の嵐が日本を襲っているわけです。当然のことながら、大変だ大変だと騒いでいても何も解決しません。この嵐は、「今、何をすべきか」というテーマを与えてくれていますし、嵐で苦しいと考えるのではなく、絶好の問題提起であると考えべきなのです。

言い換えると嵐は千載一遇の「ビジネスチャンス」です。

嵐は世の中の新しいニーズをあらわしており、このニーズを正しく読み取って当社のテーマとして解決し、ビジネスにつなげていきたいと思っております。

大和製衡は、この100年に一度の事態に対応するためのキーワードは「生産性のアップ」であると考えております。

「生産性のアップ」を具体的に申しますと、計量システム的能力アップであり、お客様の設備においては「2ラインの1ライン化」となります。すなわち、2ラインで生産していた製品を1ラインで生産することになります。1ラインの生産能力が倍になると、工場の土地建物は1/2となり、エネルギーコストも半分になります。労働力も半分で少子化対策となり、運用のための資源消費も半分に、建設コストも半分にになります。

大和製衡は、10年以上前から、今後の社会に役立つ技術、競争力を高める技術は何かという課題に絞り込み実践してまいりました。その一つが「2ラインの1ライン化」であり、今後ともこの課題に当社の革新技術を投入し、その解決に全力を挙げてまいります。

ところで私事になりますが、私は馬術で4年連続して国体出場を果たし、昨年の大分国体では3位となり表彰台に立つことができました。アクレシブな人生を目指し、「狙った獲物ははずさない」人生を目指した結果です。スポーツを通して、しっかり分析し自分でつくり上げたプロセスは、企業活動にも、自分の人生にも通用し、役に立ちます。今後ともこのスポーツ経営を実践し、どんなことがあっても立てた目標を達成する、あきらめないという姿勢を、自らが先頭に立ち実践して参ります。

スポーツ経営を実践することで「狙った獲物ははずさない」に挑戦し、常に将来を見据えた企業づくりに貢献し続けて参ります。

大和グループの力を結集して、お客様の「2ラインの1ライン化」を実現することでビジネスチャンスをつかみ、新たな飛躍の第一歩にしたいと思っております。本年も、なお一層のご支援とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



2008年度 Yamato 研修会を開催

2008年度 Yamato 研修会を、全国の有力販売店様31社のご参加を賜り、9月2日に兵庫県芦屋市アンビジュー芦屋にて開催いたしました。

例年とは異なり、古典(ベルシャ)音楽の演奏で本会議は始まり、川西社長より2007年度売上拡大にご尽力いただいた販売店様に心よりの感謝を込め、感謝状と記念品を贈呈させていただきました。

そしてご出席各社のご代表として、新倉計量器株式会社 堀田社長様より謝辞をいただきました。

また、特別表彰の各賞につきましても、2007年度当社の営業政策の展開と売上の向上に最も顕著な貢献をいただいた販売店様に対し、感謝を込めて表彰させていただきました。

このあと砂川事業部長より、2008年度普通はかり事業部方針を下記の通り発表いたしました。

「新商品を核とした新規ルート創りと大手流通ネット、地域密着ディーラへのビジネスの拡大(OEM、PB商品含)を販売戦略とし、一方技術戦略として、新商品の開発スケジュール遅れの挽回と立上げ時のクレームの撲滅と品質の造り込み等の仕組みを見直すことを戦略の基本として、普通はかり事業の構造改革を推進すること」

次に、川西社長より目安はかりの提案として、「はかり付きジャッキ」と「滑車スケール」の新たなビジネスチャンスを創造し続けていく Yamato の企業姿勢について発表いたしました。

また、新商品展示コーナーでは「21世紀形NEW BUSINESSの創造」を展示コンセプトに、商品説明

に加え、ビジネスチャンスを新形TDW/DP・UDS/健康機器/産機・自動機器製品の4つのコーナーに分けてそれぞれの新製品を展示発表いたしました。

研修会の後、アンビジュー芦屋内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催いたしました。

会場では、Yamato Music Festival Vol.8と題し、「川西勝三とそのバンド」・Gutch/春野由利・ウォルター・クラークをお迎えし、ジャズの演奏を楽しんでいただき、大変な盛り上がりの内に終えました。

翌3日は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフは名門コース「東広野ゴルフ倶楽部」でのプレーと、観光は世界遺産であります平等院を観光し、和風迎賓館として名を馳せる奈良の「菊水楼」にてお互いの親睦を深めていただきました。

2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了することができましたことは、ご参加いただきました皆様のご協力の賜と深く感謝いたしております。



組み合わせ専用はかり卓上データウェイ

TDW-2100WPシリーズ

TDW-2101WP
(一体型タイプ)



TDW-2102WP
(セパレートタイプ)

特長

<p>1 他社に無い高額粗利商品</p> <p>他社に同等商品が無く、価格競争から脱却できます。</p>	<p>4 指示計部は使いやすいタッチパネル方式</p> <p>設定操作方法はタッチパネル方式のため使いやすく、品種の切替・登録が容易に行えます。</p>
<p>2 正確でロスの少ない定量計量作業を実現し、抜群に歩留まりを向上</p> <p>最も下限値に近い商品を組み合わせることで、歩留まりを向上することができます。</p>	<p>5 集計機能を搭載し、生産数などが一目で判ります</p> <p>その日の生産数・平均重量値などが一目で判ります。また、生産データはUSBメモリなどを使ってパソコンへデータ出力ができます。</p>
<p>3 防水等級IP66のオールステンレスボディ(計量部)</p> <p>水をかけながら洗浄することができ、衛生面を考慮した仕様。</p>	<p>6 誰が作業しても生産効率に影響がでません</p> <p>作業者はランプの光った被計量物を取るだけの単純作業が実現。</p>

納入事例ご紹介

業者名: H食品株式会社 特殊仕様: 電源ケーブル長さ 10m
被計量物: 水煮竹の子

商談経緯

H食品株式会社様では、歩留まり改善を目的に旧機種TDW203Wをご使用されていました。しかしその一方で、旧機種では組み合わせスピードが遅い・水を直接かけての洗浄ができない・操作方法がわかりにくいなどの問題点がありました。

TDW2100WPシリーズでは上記の問題点が大幅に改善され、器物デモを実施させて頂き、操作が簡単で使いやすい組み合わせスピードが速くなり、作業効率が改善できることから今回のご購入に繋がりました。

卓上データウェイを使用することでの歩留まり改善例

商品: 水煮竹の子 180gパック「設定重量 190g~230g」

○卓上データウェイ採用前従来計量 ▶ 平均重量 210g詰め

◎卓上データウェイを採用した結果 ▶ 平均重量 **201g詰めに改善**

歩留まり 9g改善	生産能力 17個/分	生産量 1,500パック/日
-----------	------------	----------------

改善 9g × 1,500パック × 250日/年間稼働日数 = 3,300kg

▶ **年間約3.3tの歩留まり改善に成功!! 年間約16,400パック増産が可能に!!**



納入事例

作業者の声



中村主任様

卓上データウェイを使用することで製品歩留まりを改善でき、製品重量のバラツキを少なくすることで製品品質が安定しました。

旧機種TDW203Wから比べると、

- ①組み合わせスピードが早くなった
- ②直接水を掛けて洗浄できるので洗浄作業が楽
- ③タッチパネル採用で操作・設定が簡単
- ④判別ランプがLED採用で見やすい

ターゲットユーザ

- ・被計量物が拳サイズの大きさである。
- ・定量パック詰め商品である。
- ・旧機種TDW203W保有ユーザ様

代表例

土生姜・明太子・トマト・干し芋

オートチェッカ「Eシリーズ」のご紹介

多様化する生産・物流ラインへ「導入しやすく」「使いやすく」「メンテナンスしやすく」そして「環境にやさしく」をコンセプトに開発いたしました。

自動重量選別機(オートチェッカ)の新商品「Eチェッカ」の2モデルを、2008年12月10日(水)から発売いたしました。Eチェッカは、これまで専門性が必要とされた、あらゆるオペレーションの簡易操作を実現した画期的な新商品です。「高性能」「高機能」を実現し、「自己診断」「自己復帰」「最適制御」をキーワードに「ユーザーフレンドリー」を追求し、あらゆる製造ラインで「安心・安全」そして「確実」をお約束いたします。



Easy1 簡単設置・簡単調整

従来のオートチェッカでは設置から調整までを専門の技術員が行っていましたが、Eシリーズでは、各パーツをユニット化することにより誰にでも組み立てが容易となりました。パーツユニット化によるコンベヤ流れ方向の組み替えが簡単にでき、将来のライン変更にも柔軟に対応可能です。また **Yamato** 独自の「自動調整プログラムシステム」の採用により被計量物をオートチェッカに通過させるだけで、自動で各種の運転条件の設定を行います。新技術の「自動ロードセルストップ」(特許出願中)は、清掃時などの不意な衝撃からロードセルを守り、故障の要因を減らします。

Easy2 簡単操作

8.4インチカラー液晶パネルは「見やすさ」「使いやすさ」を追求しました。初期設定や品種設定は対話入力方式で簡単にナビゲーションし、ガイダンスに従って入力するだけで誰にでも簡単に設定ができます。また言語は「日・英・中」を標準装備し、オペレータを選びません。



Easy3 簡単メンテナンス

Yamato 独自のモニタリングシステムにより、運転中のソフト、ハードを常に監視。トラブル発生時にはアニメーションによるエラーステータス表示により、無駄な時間を要せずエラー復旧することができます。また当社独自の最適制御システムにより、コンベヤ速度を常にチェックし、設定された正確な速度で運転を行います。コンベヤ速度の変化による諸々のトラブル(2個乗り異常、精度不良等)を防止します。



Eco 環境にやさしい製品設計

部品点数を削減し、当社従来機より約20%の小形軽量化を実現しました。また指示計部が後ろに倒れることにより、コンパクトに梱包でき、段ボールケースでの輸送が可能となりました。これにより輸送コストを削減するとともに、輸送時のCO₂排出量を低減いたします。**Yamato** 独自の電源装置の採用により、消費電力を当社従来機より約20%削減し、省エネ運転を可能といたしました。



Yamato 独自の計量技術と経験を活かし、開発された次世代形オートチェッカ「Eシリーズ」は、時代の変化によるお客様の問題点を柔軟に解決します。また **Yamato** は今後も生産現場のニーズに沿ったより良い製品を開発し、環境問題に対しても限りある資源として受け止め、産業の発展と環境保全を両立させることを考え製品開発を行います。

基礎レストラックスケール

2005年の発売開始以降、RFIDカードリーダーやETCシステム等様々な進化を遂げた次世代形トラックスケールですが、この度さらなる進化を遂げることになりました。それがこちらでご紹介させていただく「基礎レス(基礎工事不要)トラックスケール」です。

従来より一部のお客様から「簡単に設置できるトラックスケールは無いか?」というお問い合わせをいただくことがあり、詳細を確認してみると、「借地で事業を行っており、トラックスケールを使いたいが、基礎工事はおろかアンカー止めすらできない。」とのことでした。

主としてこのようなお客様に対応するため開発されたのが基礎レストラックスケールです。

これは、「**一定の水平度をもったコンクリートの地面があれば置くだけで使用できるトラックスケール**」です。

これにより前述のお客様はもちろんのこと、これ以外の

お客様にも基礎工事の手間および費用を軽減するという大きなメリットを提供できるようになりました。

2009年中旬の発売開始を予定しておりますので、今後とも次世代形トラックスケールを宜しくお願いいたします。



機械式はかりの指定製造事業者の指定のお知らせ

計量法指定製造事業者制度に基づき、平成20年11月5日に機械式はかり(質量計第二類)の指定を受けましたのでお知らせいたします。

- 指定製造事業者番号は、032801です。
- 下記対象商品に基準適合証印を付しています。

今までにもまして品質管理を徹底させ、お客様に満足していただける商品を提供いたします。



対象商品 上皿はかり(ばね式はかり)SDXシリーズ	
ひょう量	目量
2kg	5g
4kg	10g
8kg	20g
12kg	50g
20kg	50g
30kg	100g

インドに子会社を開設

Yamato Scale India Private Limited

大和製衡株式会社は、かねてより開設しておりましたインド・サービスセンターを強化し、9月1日にインド・ニューデリーに子会社(Yamato Scale India)を開設いたしました。金融危機で世界同時不況が懸念される中、躍進著しいインド市場では計量機器の需要が高まっており、これを機に営業体制を強化し、インド市場での**Yamato**ブランドのさらなる浸透を図ります。

社員一同、皆様のご要望に添えるよう精一杯努力してまいりますので、何卒、今後も変わらぬご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



社名	Yamato Scale India Private Limited
住所	Flat No.225, Somdutt Chambers II, 9, Bhikaji Cama Place, New Delhi - 110066 India
代表者	久米 敏彦
TEL	+91 (0)11 4607 2882
FAX	+91 (0)11 4607 2881

Pack Expo 2008

2008年11月9日(日)～13日(木)までの5日間、アメリカ・イリノイ州シカゴのMcCormick Place Convention Centerで開催された包装関連機械工業展「Pack Expo 2008」(全米包装機械工業会)に、当社の米国子会社であるYamato Scale Corporationが出展いたしました。



本展示会は、シカゴとラスベガスにおいて毎年交互に開催されている米国で最も大きな包装機械工業展の1つであり、最先端のパッケージング機械、コンバート装置、加工技術、材料、容器はもちろん、最新の安全性包装や新しい印刷・グラフィック技術、計装機器等に関する最新情報を総合的に発信する展示会でもあります。

今年は約2,300社が出展し、ダウンタイム短縮の最適ソリューションなどを目的とする製造業などのユーザー層を中心に約4万4千人の来場者があり、企業の競争力強化や課題解決につながる機器・システムの最新動向を求めて、食品などの製造に携わる経営者層、生産設備関係者が多数来場し、商談および情報交換が活発におこなわれました。

今回、当社ブースでは「mission:possible」をテーマに掲げ、スナックメーカー業界を中心とした多数の業界のお客様が抱えておられる課題解決となる様々な計量機を展示いたしました。

先進的技術により包装システムを高速かつ安定稼動を実現

高精度を保ちながら1分間に最高210回の高速度計量を実現し、さらにプロダクトウィンドウも十分に確保できる計量機「ADW-F518MV」をコンセプトマシンとして出展し、そのスピードと包装機への安定した供給による最先端の計量技術に注目が集まりました。

消費者ニーズの多様化に伴い、食品業界に求められる要求も高度化しています。**Yamato**は、お客様が抱えておられる課題解決に向け、サービス向上はもちろん、最先端の技術提案をしております。

川西社長 大分国体でメダル獲得!

大分県で開催されました第63回国民体育大会におきまして、当社社長の川西勝三が2008年9月28日「馬場馬術競技」で5位入賞、9月30日「自由演技馬場馬術競技」で目標であった3位入賞(メダル獲得)を果たしました。

これからも文化人たる経営者として、業界人として、還暦越えた人生は“墓場行きの待合場所”にならない様、“狙った獲物ははずさない”を信条にして公私とも、新たなる目標に挑戦し続ける姿を社員にみせております。



Editor's Notes 編集後記



今号から「ヤマトニュース」は **UD(ユニバーサルデザイン)** の考え方を取り入れた紙面構成でお届けします。

UDとは、個人の色の感じ方の差や年齢などに関係なく、できるだけ多くの方に正しく情報が伝わるように、見やすく分かりやすいデザインにしようという考え方です。

そして近年、UDへの対応は企業の社会的責任を考える上で必要なものになってきています。

新しい「ヤマトニュース」では本文中にUDに配慮したフォントを使用し、文字サイズも読みやすさを意識しました。

さらに今号からFSC(Forest Stewardship Council、森林管理協議会)の認証を受けた「**FSC認証紙**」を使用しております。

FSCとは、国際的な森林認証制度を行なう第三者機関のひとつで、環境や地域社会に配慮して適切な森林管理がなされているかどうかを信頼できるシステムで評価し、それが行なわれている森林を認証します。FSC認証紙を使用することで健全な森林の育成を支援することにつながります。

読者にも環境にも配慮した新しい「ヤマトニュース」に、今後もぜひご期待ください。

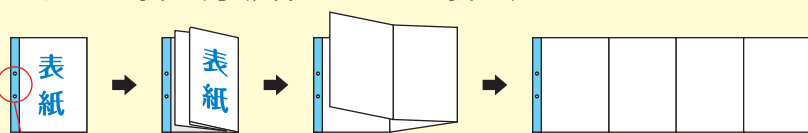
今号から「折り方」も新しくなりました!

従来の折り方(観音折り)



…広げて読みにくい / ▲は●よりも横幅が短い

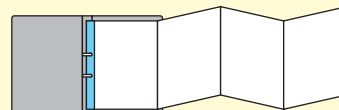
今回の折り方(片袖巻き四つ折り)



「Y」印を中心にパンチ穴を空けると、ファイリングに便利です!

ここが変わった!

- ・無駄なスペースを少なくし、大胆な内容展開ができます。
- ・ファイルに閉じたままでも広げることができ、読みやすくなっています。



信頼・技術・創造
大和製衡株式会社

URL: <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号 TEL.078-918-5555
 普通はかり営業課 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号 TEL.078-918-6540
 東日本支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号 住友生命浜松町ビル4階 TEL.03-5776-3121
 中日本支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号 朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.052-238-5730
 札幌営業所 〒062-0052 札幌市中央区南二条東1丁目1番地14 住友生命札幌中央ビル8階 TEL.011-219-8355
 千葉営業所 〒264-0025 千葉県若葉区都賀4丁目8番18号 ショー・エム都賀1階 TEL.043-214-3920
 九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号 博多エイトビル1階 TEL.092-471-1921

2009年1月発行 09011300 Ik



本カタログは環境に配慮し、植物性大豆油インキを使用しています。